

授業科目 検査測定評価学実習

当教員名] 小林量作 相馬俊雄 古西 勇	対象学年	2	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	60

<一般目標：G I O>

本授業では、前期で学んだ検査測定評価学を臨床実習で応用できるよう実施技術の習得を目的とする。特に関節可動域検査、徒手筋力検査を重点的に行う。実施技術を習得するには反復練習が必須であり、授業以外でも学生同士で練習することが必要である。。

目標：S B O>

1. 関節可動域検査の技術を習得する。
2. 筋力検査の技術を習得する。
3. 姿勢・動作分析を習得する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・担当教員
1～2	関節可動域検査 (総論)	1	小林 相馬 古西
3～4	関節可動域検査 (上肢)	1	相馬 小林 古西
5～6	関節可動域検査 (下肢)	1	相馬 小林 古西
7～8	関節可動域検査 (体幹・手指)	1	相馬 小林 古西
9～10	関節可動域検査 (柔軟性テスト)	1	相馬 小林 古西
11～12	筋力検査 (総論)	2	小林 相馬 古西
13～14	筋力検査 (上肢)	2	小林 相馬 古西
15～16	筋力検査 (下肢)	2	小林 相馬 古西
17～18	筋力検査 (体幹)	2	小林 相馬 古西
19～20	筋力検査 (手指、顔面)	2	小林 相馬 古西
21～22	事例提示 (関節可動域、筋力)	12	小林 相馬 古西
23～24	姿勢・動作分析	3	相馬 小林 古西
25～26	姿勢・動作分析	3	相馬 小林 古西
27～28	事例提示 (全ての評価)	123	小林 相馬 古西
29～30	実技試験	123	小林 相馬 古西

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	理学療法評価学	松沢 正著	金原出版	1998年 6200円
	新・徒手筋力検査法 (Muscle Testin 6th)	津山直一訳	協同医書出版	1996年 6695円
	ベッドサイドの神経の診方	田崎義昭・他著	南山堂	1994年 7200円
参考書	Muscle Testing and Function(4th)	F.P Kendal Williams & Wilkins		1993年 10658円
	理学療法評価学	内山 靖編	医学書院	2001年 5800円
その他の資料				

評価方法】

出席、レポート、実技試験、期末試験

【履修上の留意点】

毎回、実技できる服装で出席すること。